

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒216-8511

住 所 川崎市宮前区菅生2丁目16番1号

氏 名 学校法人 聖マリアンナ医科大学

理事長 明石勝也

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 聖マリアンナ医科大学		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市宮前区菅生2丁目16番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	上記以外の事業者 (任意提出事業者)	
主たる事業 の種類	大分類	○	教育, 学習支援業
	中分類	81	学校教育
主たる事業 の内容	大学及び病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	10,882 k l
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2023 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(年度)	
排出量 (t-CO ₂)	(実) 16,681	(実) 17,965	(実) 19,813	(実)	(実) 16,181
	(調) 16,785	(調) 17,865	(調) 19,066	(調)	(調) 16,281
削減率		(実) -7.7%	(実) -18.8%	(実) %	(実) 3.0%
		(調) -6.4%	(調) -13.6%	(調) %	(調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

	延床面積				原単位等の単位	t-CO ₂ /千㎡
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度		
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(年度)		目標とした値
排出量原単位等の値	120.0	89.60	109.5			116.4
活動量の値	139	201	181			-
排出量原単位等の削減率		25.3%	8.8%	%	%	3.0%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	2021年度の基準年度に対し、2022年度も聖マリアンナ医科大学病院リニューアル計画による入院棟の竣工、年度途中から病院別館の全館改修開始と病院本館の入院機能引越しなどで、結果延べ床面積の61,520.558㎡ (48.8%) 増加を受け、排出の量7.7%増加に対し原単位は25.3%減少した。
第2年度	2022年度に対し、2023年度も聖マリアンナ医科大学病院リニューアル計画により2022年10月に竣工した入院棟の負荷が2023年度は通年で発生し排出量は10.3%増加した。また、2022年度途中から全館改修工事が開始したことによる延べ床面積の19,604.635㎡ (10.45%) 減少の要因が大きく、原単位は22.21%増加した。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 照明のLED化を進める。 2 エアコン更新を毎年計画的に実施する。 3 ヒートポンプチラー(冷温水)1台を更新する。
<p>第1年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 照明のLED化を進めた。 2 エアコン更新を毎年計画的に実施した。 3 ヒートポンプチラー(冷温水)1台を更新した。
<p>第2年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 照明のLED化を進めた。 3 ヒートポンプチラー(冷温水)1台を更新した。 4 空調機のモーターを1台更新、排風機を1台更新した。(追加実施)
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
空調用ヒートポンプチャラー	規模：125kw 導入場所：別館 性能：COP4.5	平成24年度
空調用ヒートポンプチャラー	規模：85kw 導入場所：難治研 性能：COP3.97	平成26年度
空調用ヒートポンプチャラー	規模：85kw 3台 導入場所：難治研 性能：COP3.97	平成29年度
空調用ヒートポンプチャラー	規模：49kw 3台 導入場所：医学部 性能：COP3.26	平成29年度
空調用ヒートポンプチャラー	規模：150kw 導入場所：東館 性能：COP3.24	令和4年度
空調用ヒートポンプチャラー	規模：150kw 導入場所：東館 性能：COP3.24	令和5年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	構内道路補修工事における低炭素合材の使用によるCO2削減(追加実施) 出荷量:加熱合材14t、再生合材14t、合計28t CO2削減量:357kg-CO2
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	1. 法人単位でのクールビズの実施 2. CCかわさきに参加 3. 省エネチェックシートの活用 4. 廃棄物の減量化と分別収集を推進 5. 節電要請
第1年度	1. 法人単位でのクールビズの実施 2. CCかわさきに参加 3. 省エネチェックシートの活用 4. 廃棄物の減量化と分別収集を推進 5. 節電要請
第2年度	1. 法人単位でのクールビズ及びウォームビズの実施 2. CCかわさきに参加 3. 省エネチェックシートの活用 4. 廃棄物の減量化と分別収集を推進 5. 節電要請
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	16,681 t-CO ₂	17,965 t-CO ₂	19,813 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	9,465 KL	9,842 KL	10,882 KL	KL
事業所の数	3	3	3	

(2) 事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
学校法人 聖マリアンナ医科大学	川崎市宮前区菅生2丁目16番1号	14,900	16,084	18,022	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
聖マリアンナ医科大学東横病院	川崎市中原区小杉町3-435	1,561	1,662	1,577	